

平成29年6月15日

新型ディーゼル機関車の製作について

当社では、非電化区間の貨物列車けん引と、貨物駅構内の入換作業の双方に使用しているDE10形式及びDE11形式液体式ディーゼル機関車について、老朽化のため置換用の機関車を新たに開発することとし、現在試作車1両の製作を進めています。

このたび、この機関車の形式名と特徴、車体のデザインがまとまりましたのでお知らせします。

1. 形式名

DD200形式電気式ディーゼル機関車

2. 特徴

DE10形式相当の走行性能にするとともに、軸重(1軸あたりの重量)を低く抑え、DE10形式でしか入線できない線区への入線も可能としています。また、本線運転及び入換作業の双方に配慮し、車体中央部に横向きに運転台を配置したほか、入換の際等に誘導を行う操車担当の作業性向上のため、車端にデッキスペースを確保しました。

技術的には、JR移行後に導入した新形式機関車である、DF200形式電気式ディーゼル機関車及びEF210形式直流電気機関車等の新型電気機関車で開発してきた技術を応用し、性能の確保と信頼性の向上を図っています。

また既存の新形式機関車と装置の標準化を図り、メンテナンスコストの低減、及び修繕部品の安定供給を確保するようにしています。

3. 出場日

平成29年6月下旬(予定)

4. デザイン

別紙

5. 主な諸元

項目	DD200形式	(参考)	
		DE10形式	DF200形式
駆動方式	電気式	液体式	電気式
動軸数	4軸	5軸	6軸
運転整備重量	58.8t	65.0t	96.0t
車体長	15.9m	14.15m	19.6m
最高運転速度	110km/h	85km/h	110km/h
動輪周出力	600kW	600kW	1,900kW
主機関	水冷4サイクル V型12気筒 1個	水冷4サイクル V型12気筒 1個	水冷4サイクル V型12気筒 2個
主電動機	4個	なし	6個

(別紙)

DD200形式電気式ディーゼル機関車 デザイン

